

和島地域の木 / やぶ椿 和島地域の花 / 雪割草

わしま

地域密着型複合施設

特別養護老人ホームわしま
グループホームわしま
長岡市デイサービスセンターわしま

居宅介護支援事業所わしま
長岡市地域包括支援センターわしま・てらどまり



謹賀新年

本年もよろしく願いいたします。

新年のご挨拶



地域密着型複合施設わしま

施設長 山田 活基

新年明けましておめでとございます。皆様方におかれましては日頃より多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

卯年に読み手となり、今も大切にしている小説のひとつに司馬遼太郎の『坂の上の雲』があります。「まことに小さな国が、開化期をむかえようとしている」という書き出しで始まり、明治期の日本を心意気と実像をもって編み上げていく作品です。とくに全編を象徴するにいたる「上つていく坂の上の青い天にもし二朶の白い雲が輝いているとすれば、そのみを見つめて坂を上つてゆくであろう」という一節に眩しさと憧れを感じるのは私だけでしょうか。

さて、私たち社会福祉実践を志す者にとって直面する社会の情勢は誠に厳しく、その道は険しさを増すばかりです。感染症、自然災害、物価上昇、人口減少と課題は尽きませんが、生きていくことの困難さに応ずることが私たちの使命であり、今こそ私たちは先人の遺した心意気を胸に立ち上がりねばなりません。先日日本の無人探査機が月面に着陸したとの知らせがあり、そのフロンティアスピリットと積年の努力の成果に皆さんも感動されたことと思います。令和六年は辰年です。努力によって道を拓き、上つてゆくが如くその道を進んでまいりましょう。

関係各位のご多幸をお祈り申し上げますとともに、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

＊ 特別養護老人ホーム わしま

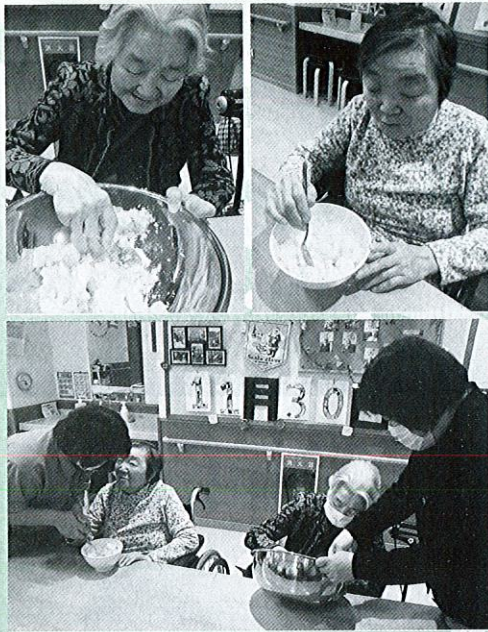
調理レクリエーション

～寒さに負けずに～

地域の方よりジャガイモをいただいたので、寒くなってきた時期にぴったりなジャガイモのポタージュ作りに挑戦しました。

ご利用者の皆さまに漬す作業を手伝っていた
だきながら無事に完成!!

寒さに負けないように身体の芯まで温まるポ
タージュを飲んで、この冬を元気に乗り越えてい
きましょう!



クリスマスが今年もやってきた♪

12月24日にクリスマス会を行いました。クリ
スマスケーキを食べながら昔話に花が咲き、笑
顔溢れるひとときとなりました。食べた後は昨
年も現れた不思議な顔のサンタクロースと写真

＊ グループホーム わしま

活動から生まれた地域とのつながり

昨年度から取り組んだ、「ともにつくるやさ
い」で生まれた地域との輪。地元の農産物直売
所(良寛の里わしま)から購入した地元のさつ
まいもを使用して、地元のレストラン和島
トウ・ル・モンドで作っていたいただいた和島
産さつまいものモンブランを、ご利用者と食べ
ながら、「ともにつくるやさい」の活動を振り
返りました。



忘年会

昨年末に忘年会を行いました。昼食
はお刺身やエビフライなどご利用者の
希望を盛り込んだ、地域の割烹料理屋
の仕出し弁当をいただきました。午後
はご自分でデコレーションしたグラス
ケーキを食べ、その後カラオケ大会が行

＊ 長岡市
デイサービスセンター わしま

クリスマス会

サンタクロースやトナカイのコスチュームで
雰囲気盛り上がる中、ご利用者の皆さんと
一緒に「クリスマス輪投げゲーム」を楽しみまし
た。真剣な眼差しでトナカイの角を目がけて輪
を投げ、点数を競います。

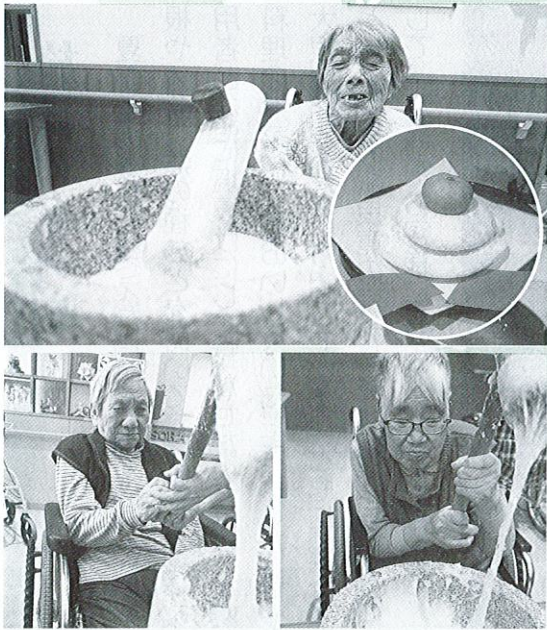
勝負の後はクリスマスの特別なロールケーキ
とパーティー用の飲み物を美味しく召し上がっ
ていただきました♪



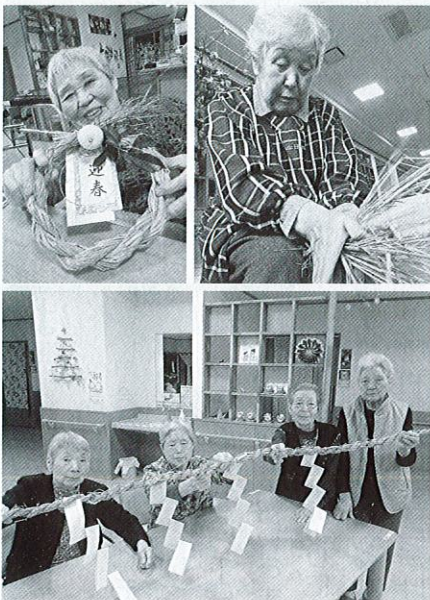
忘年会

年の瀬には欠かせない「忘年会」。思い返せば
あんなことやこんなこと…。一年の締めくくり
を笑って過ごしていただきたく、職員による余

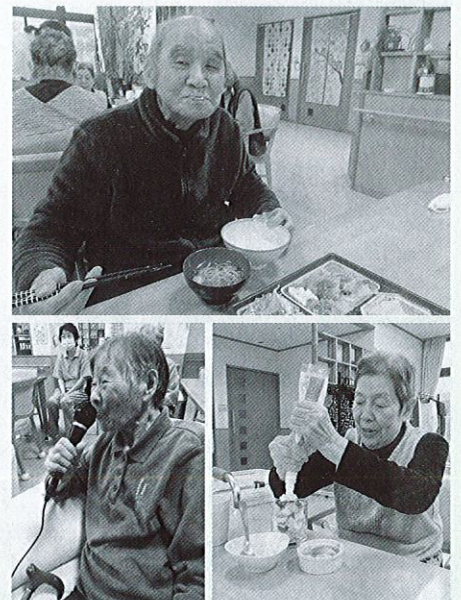




あけましておめでとーございませす！
 本年もよろしくお願ひいたします。
 1月1日は鏡餅作りをしました♪「ヨイシヨー」と新年早々、大きな声がユニットに響き渡りました。その後もち米の懐かしい匂いに包まれながら紅白饅頭をいただきました。



新しい年を迎えるために
 新年を迎えるためにしめ縄やしめ飾りを作りました。昔からこの作業をされていた方は藁を濡らし柔らかくした後、慣れた手つきで手と足を使って器用に縄をなっておられました。縄ないをされないご利用者も出来上がった縄を利用して、正月飾りを作ったり共同でしめ縄を作られ、素晴らしい出来栄に皆さん嬉しそつでした。



声も合せてもいっしょに時間もあつても楽しい時間になったようです。

ゆず湯で温まっていたいだいた皆さんは、元気に冬が越せること間違いありませんね！



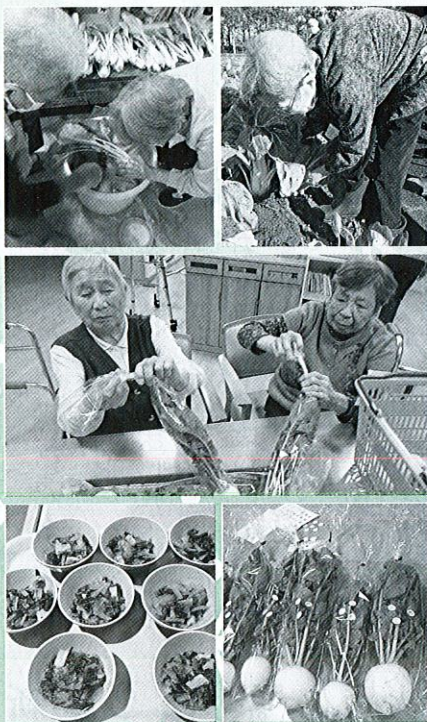
ゆず湯
 デイサービスセンターわしまでは毎月、季節にちなんだ変わり湯を実施しています。12月は冬至に合わせてゆず湯を行い、香りを楽しみながら温まっていたいだきました。
 冬至の日にゆず湯に入ると風邪をひかずに冬を越せると言われており、ゆずは融通がきく、冬至は湯治の語呂合わせだけでなく運を呼び込む前に厄払いするための禊だと考えられているのだとか。ゆずのように「強い香りのもとには邪気がおこらない」という考えや、実るまでに長い年月がかかるため「長年の苦勞が実りますように」との願ひも込められているそつです。



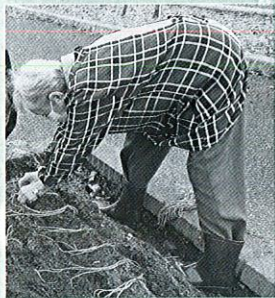
宴会では、好きな飲み物を片手に声を揃えて「かんぱーい！」

施設の冬の畑

夏野菜の栽培を終えた施設の畑では、冬に向けて大根や白菜、蕪の種などを蒔いて育てました。体菜はご利用者と一緒に塩漬けにして寝かせたのち、新潟県の郷土料理の煮菜にしておいしくいただきました。蕪やワサビ大根は昨年から取り組んでいる「ともにつくるやさしい」として「道の駅良寛の里わしま」の農産物直売所に出荷して、立寄ったお客様に喜んでいただきました。



それから和島ごども園の園児の皆さまにさつまいも掘りをしていただいた後の畑は、少し休ませてから「泉州黄玉」という品種の玉ねぎの苗を350本植えましました。ご利用者は自宅でも毎年玉ねぎを植えておられた方が多く、慣れた手つきであったという間に苗を植え終わりました。玉ねぎの苗は細いですが、冬の寒さに耐えて初夏に大きな玉になってくれると思うと、今から収穫が楽しみです。

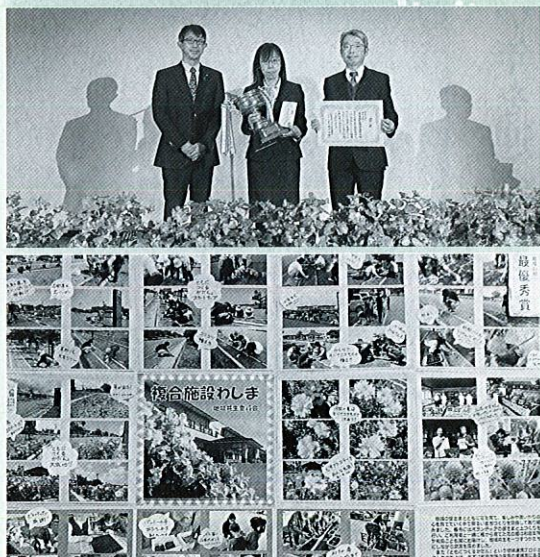


花いっぱいコンクール



今年度は「ともにつくるかだん」というプロジェクトを立ち上げて、和島地域の皆さまと一緒に花壇づくりに取り組みました。コンクールの部門としては「職場の部」ですが、ご利用者と職員だけでなく、今年はお家族や地域の子どもたちをはじめ、本当に多くの皆さまに足を運んでいただき、一人ひとりにキバナコスモスの種を蒔いていただきました。

ご賛同、ご協力いただいた皆さまには心より感謝申し上げます。「共育の道を花いっぱい」という活動をきっかけに様々な社会活動に繋がっていききたいと思っております。



新年のお祓い

1月9日、コロナ禍を経て5年ぶりに和島地域にある宇奈具志神社の宮司様をお招きし、新年のお祓いをしていただきました。

大きな地震とともにスタートした1年ではありますが、今年もご利用者、ご家族、地域の皆さまが安全に安心して笑顔で過ごしていただけるよう努めていきたいと思っております。

